3

REEL No. 1-0021

0365

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http //www jacar go jp/

達歐使第一件

（兩都兩院設置期不開院時期
貨幣制度改革ニカラフ上境界其他数件
ニ関シ詳細ノ件 使第一号 外務大臣宛
慶応元年）

外務省

REEL No. 1-0021

0366

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

遣歐使節一件

○目次

○使節発遣ノ発端

○使節任命ノ事

○政府ノ訓令及使節ノ又ハ隨行者ノ人数ノ事

○遣歐使節ト蘭人シーボルト氏

○遣歐使節ノカラフト境界談判委任ノ事

○使節送迎船ノ事

○使節以下称号位階取調査定ノ事

○使節出発ノ事附出発準備ノ事

○佛国ニ於ケル談判ノ事

○英国ニ於ケル談判ノ事

○和蘭国ニ於ケル談判ノ事

○孝隆国ニ於ケル談判ノ事

○普国ニ於ケル談判ノ事

○葡萄牙国ニ於ケル談判ノ事

○使節ノ帰朝附使節ノ各国ニテ条約ノ談判再試ノ各国謝礼ノ為贈物品ノ送ル事

外務省

編者附言

REEL No. 1-0021

0367

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

萬延元年
慶應二年

遣歐使節一件（両都両港開市開港延期不開港密貿易貨幣制度改良カラフト上境界其他諸件ニ関スル談判使節外国奉行等對）

○使節派遣ノ發端

萬延元年十月先是政府部内ニ於テ遣歐使節ノ議アリシモノト見ヘ此月安藤對馬守邸宅ニ於テ亜國公使ハルリストト會セシ時亜公使ヨリ我國ニ於テ使節ヲ歐州各國ヘ遣ハスヘキ事ニ關スル内議如何トノ發談アリケレハ閣老ハ其議既ニ熟セルモ船艦ノ備ナキヲ以テ未タ斷行ニ至ラス其準備アリ次第派遣ノ存念ナル事ヲ以テ答ヘタルニ彼レハ此際使節ヲ歐州ニ遣ハサンニハ我國ニ取リテ利益スルトコロ大ナルヘク就中使節ヲシテ佛國皇帝ニ謁セシメ佛國トノ親睦ヲ厚カラシムルニ於テハ我國外交上將來萬事都合宜シカルヘシ且ツ使節ノ派遣ハ早キニ利アリ後ルレハ其利隨テ少ナルヘキヲ述ヘ其派遣ヲ早クスヘシト勸告シ尚ホ閣老ノ問ニ應シ各國回巡ニ要スヘキ日數及軍艦等ノ事ニ關シ答フルトコロアリシ翌文久元年一月酒井右京亮横濱ニ於テ英佛兩公使ト對談ノ際兩公使ヨリ遣歐使節ノ利ヲ説キ其派遣ヲ勸誘シタリケレハ我レヨリ之レニ答フルニ最早亜公使ヘ答ヘタルカ如ク使節渡航ニ先ツヘキ軍艦アラサルヲ以テ遣歐使節ノ議未タ斷行ニ至ラサルヲ以テセシニ彼レ之レニ對シ日本政府若シ使節派遣ノ議決スルニ於テハ軍艦等ノ事ハ如何樣ニモ取計フヘク候ヘシト告ケ其後二月安藤對馬守邸宅ニ於テ兩公使ハ安藤久世兩閣老ニ對シ前談ノ趣旨ニ基キ再ヒ遣歐使節ノ提出シ百方其斷行ヲ勸誘シ且ツ曰ク使節渡航ニ要スル軍艦ノ如キハ兩國政府ニ於テ引受ケ自國ノ軍艦ニテ送迎スルモ又ハ日本ニテ特ニ船艦ヲ購入ルヽモ二者其好ムトコロ

外務省

1.

REEL No. 1-0021
0368
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

に接つへ〳〵若し夫レ使節派遣及其送迎等ノ事に関し閣老
より公文書を以て之レを両公使に報スルアラハ両公使ハ
全カラ長シテ本国政府に對シ之レカ周旋ノ任に当ル〳〵し
本国政府モ亦タ備ニ之レを復スヘシト雖モ閣老迄
に其説に従ヒ急使節派遣に決シ両公使へ依頼ノ公文書を
及使節派遣ノ期日等に関スル協議ヲナシ此月七日迄に両
公使に宛公文を以て今般双方ノ交誼を厚クスルヲ為メ
欧洲締盟各国へ使節を派遣スヘキヲ通ス且ツ我国に
於テ海軍未タ具備セサルを以て右使節各国へ渡航ノ事に
関シテハ船艦其他一切両国政府に於テ周旋アランヲ望
ム旨申出テタリ両国公使之レを承諾ス

○使節任命ノ事

文久元年三月廿四日遣欧使節トシテ御勘定奉行竹内下野守
正使に外国奉行兼山左衛門尉を副使に御目付京極左
庫丞を御勘定吟味役高橋平作を立會役に任命シタリ

外務省

五月十九日更ニ外国奉行水野筑後守を遣欧使節に任命
シ翌廿日遣欧使節トシテ勘定奉行竹内下野守
を正使に外国奉行水野筑後守任兼山左衛門尉両人を副使
に目付京極能登守を立會役に任命シタル旨公文を以て閣
老より各国公使に通知シタリ尋偶生国ハ使臣ノ駐劄スル
モノナキを以て同国ト条約締結ノ際之レカ斡旋ノ労を取
レル縁故に因リ亜公使に通知書を送達シ亦亜公使ハ
亦亜に閣レテハ亜公使ノ午ノ煩ハレス

八月廿一日水野筑後守転官セシを以て右代トシテ外国奉
行兼神奈川奉行松平石見守を遣欧使節副使に任シ同シキ
廿八日之レを各国公使に通知セリ

第外国奉行

REEL No. 1-0021
0369
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

（参考）桑山参事官ノ意見ハ他ニ轉送シ其後何ニモ及ハサリシモノト見ヘ下条ニ至リ其右ノ意見ヲ見スト雖モ本件書類中轉送又ハ電報ノ謄全書ヲ見ス

○政府ノ訓令及使節又ハ関係役所ヨリ政府ヘ申越

東附其指令

文久元年四月四日政府使節及外国奉行其他外国立命役ノ官吏ヲ遣レテ曰ク今般歐州ヘ使節ヲ派遣スルノ趣旨ハ只修交和親ノ厚ナラシムル為メノミナラス事柄モ我国ノ利害ニ関スルモノハ之レヲ取捨ニ於テ彼ノ国ト協議ヲ遂ケ国利ヲ増進スルニ在ルヲ以テ各其所思ヲ陳レ政府ヘ申事スルトコロアルヘシト勘定奉行外使節等ハ之レニ對レ意見ヲ具レ申出スルトコロアリレヒ政府ハ是等ノ意見ヲ聞キ充分諮詢ヲ経タル末英年ナ二月ニ至リ遣歐使節ヲ訓令者リ遣ヘタリ其略ヲ曰ク

遣歐使節ハ各国ニ於テ左ノ件々ニ就キ談判ヲ為スヘシ

外務省

一蘭ノ輸出ヲ禁止スルヿニ関シテハ曩キニ条約締結ノ際其必要ニ心付カス条約面ニ記載漏ノトコロ其後我交易繁盛ニ赴ニ従ヒ蘭ノ輸出頓ニ増加シ国内ノ需用ニ應スル能ハサルニ至リ故ニ将来養蚕ノ業追々進歩シ国内餘裕ヲ見ルノ日ニ至ルマテ一時蘭ノ輸出ヲ禁止スヘシ

一世界各国ノ風習ニ依レハ一国ノ軍艦ハ他国ニ於テ其開港場タルト非ラサルトニ論ナク何レ港湾ト雖モ自由ニ出入スルヿヲ得ルヿナレ共我国目下ノ状勢ニ於テ不開港ヘ外国軍艦ノ出入スルヿハ極ハメテ危険ナルヿニシテ如何ナル交渉事件ヲ惹起スルヤモ測リレサルノミナラス一地方諸侯トノ争端ハ見ヒテ一国ノ安危ニ及ホスヘキ次第ナルヲ以テ當分ノ間彼軍艦ヲ

トシテ不開港場ニ出入セシメサルヿ

一外国人ハ於テ其在日本人ノ様ニ外国ニ適レ律ノ中ハ我国日下ノ国情ニ於テ人心ノ不穏ニ影響スルヿ大ナルヿヲ以テ外国公使ニ於テ一時隨伴セシムルノ外一切之レヲ禁止スヘキヿ

一我国日用品ノ中ニ就キ歳ノ豊凶ニ依リ国内ノ需用ヲ充タスヿ能ハサルノ虞アルノ場合ニ於テハ何品ニ拘ハラス一時其輸出ヲ停止シ得ルヘキヿ

一貨幣制度ノ改革ニ関シ我談判ニ對シ彼レヨリ条約面量目替三分通用ノヿヲ申出タランニハ彼ハ貨幣銀質ノ釣合相違ノ点ヲ論拠トシ必要ノ場合ニハ銀貨ヲ分析シ其不条理ヲ説破シ我国ニ於テ新貨幣ヲ鑄造スル中又ハ二朱銀ヲ再鑄スル中二者其一ヲ以テ談判ヲ

外務省

整ヘ其施行期限ハ追テ其政府ヘ申通スヘキヿヲ約シ我請求承認ニ関スル証書ヲ受ケ来ルヘキヿ

一近来英人和院由ヲ以テ実弾ヲ発射スルヿアリ右ハ不都合ノ次第ナルヲ以テ自今禁止スヘキヿ

一英仏公使ハ護衛トシテ彼国ノ騎兵ヲ隨従セシムルヿナルヲ此ノ如クシテハ却テ我国人ノ感情ヲ害シ不穏ノ虞ヲ招クノ虞ナルヲ以テ其ノ之レヲ廃止シ一ニ我警衛ニ任スルノ様ニ為シ且ツ無雑ナルヲ説キ騎兵ヲ撤去セシムヘキヿ

一此地ヨリ上境界ハ定ムルヿ

（此ノ件ニ関シ詳細ハ別項遣欧使節ヨリ上境界談判ニ関スル訓令ノ条件ニ在リ）

一従来商賈ヲナスノ目的ニ外人ヲ雇賃自用ト認ムルノ場合ハ外国人携帯ノ物品ヲ無税ニテ通関セシメ

4.

REEL No. 1-0021

0371

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

メルモ以来ハ一国ノ公使タルモノヽ外ハ何人ヲ問ハヽ相当ノ関係ヲ謀スルヿトナシ右ニ関シ英公使ト打合セタル処一時箇数五箇ニ限ルヿニハ一ヶ月五箇ニ限ルヿトナスヽレ

一、外国人死去ノ場合ニ於テ埋葬場ニ限リ埋葬スルヿ許ルシ不許説ハ法ヲ埋葬セサンヘキヿ

一、外国人雇日本人裁判事件ニ関シ我官衙ヨリ呼出ヲ受ケル場合ニ当リ右雇主ニ於テ其呼出ヲ拒ムヘキヿ拒絶スルモノアリ外国ノ振合ハ如何アルヿ論ナシ我国ニ於テハ此ノ如キヿハ之レヲ承認スル能ハサルヿ以テ以来ハ故障ナク出セシムヘキヿ

一、両都両港開市開港延期ノヿニ関シテハ最キニ既ニ各国公使ヲ経テ其政府ヘ延期談判ヲ申ヘアルニ未タ回答ニ接セス使節出帆前ニ於テ其回答ニ接スレハ其操様ニ依ルヘシ回答ニ接セサルモ右延期談判ノ件ハ使節ニ一任スルヿ以テ英ヲ各国ヘ請求談判ノ趣旨ニ基キ充分設レト談判ヲ遂ケヘシレ談判ニ際シ彼政府ニ対シテ此件ニ関シテハ我国疑団其公使ニ一任シアリトテ一時使節直接ノ談判ヲ避クルヲ此キヿアルモ使節ハ右ニ拘ハラス我国ト細ノ状態ヲ述ヘ延期利害ノ及フトコロヲ説明シ国際上ノ我請求ノ量徴ヲ計ルヘシレ政府カ此件ニ関スル方針ハ必ラス延期ヲ完成スヘキニ在リ使節出帆ノ後ト雖ヘモ此件ニ関レヲハ時ノ情況ニ依リ尚訓令スルヿアルヘシレ

一、銅ノ儀ニ関シテハ各約国ハ仮レハ国内餘積アル時ニ限リ入札ヲ以テ国人ヘ拂渡スヘキ条約ナル近来我国共

外務省

REEL No. 1-0021
0372
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

商外国商人ト申合ハセ法網ヲ免ルヽノ策ヲ講シ殊更ニ不相当ノ器物ヲ製シ銅器ノ名義ニテ巨量ノ銅ヲ輸出シ銅ノ偷出道ヲ防クヘキナキサルニ至レリ故ニ銅器ノ輸出ハ一切之レヲ禁止シ国内銅ノ状態稍ヽ復シ餘裕アルヲ待ツテ約束ニ従ヒ残銅ヲ拂渡ハスヘキトスヘシ

一、各国役所向公使及領事ヲ除ノ外私ニ外国人ヘ音信ヲ費ヒスヿヲ禁止スルヿ

一、外国人居留地ノ境域規則地税及家賃等取調ノ上我国ニ於ケル各国居留地ノ地所境域等ニ関シ其国政府ニ就キ談判ヲ遂ケ一定ノ規約ヲ定ムヘキヿ

使節ハ各国ニ就キ右ノ諸件ヲ取調ヘ政府ニ上申スヘシ

一、各国公使館及領事館ノ賃況地税及家賃ニ関スル件

二、交易ニ関スル規約及物品取引ノ賃況ニ関スル件

三、水先案内規則ニ関スル件

四、納屋ニ関スル規則及賃況ニ関スル件

五、梅毒向ニ関スルヿ其他城郭堡塁軍艦等ノ保ニ関スル件

六、諸産物、諸器械製造方、大砲小銃ノ製作及金銀貨鋳造ノ方法等ニ関スル件

七、一国ノ人他国人ヨリ軍艦又ハ商船買入レノ際右賃貸ニ対シ報金ヲ謀スルヿニ就キ其標準及程度ニ関スル件

八、政事学政及軍制ニ関スル件

九、戦時禁賃品規則ニ関スル件

十、外国居留民ニ於テ公衆ノ安寧ヲ害スルノ所為アリヌルモノアルニ当リ之レカ鎮撫又ハ捕縛拘引等ニ関スル

規則手續ノ件

土、薪水金ト科等ノ儀給ヲ乞フノ船舶アル場合ニ於テ之レヲ取扱方ニ関スル件

使節ハ又船質代償等高宜ノ事船アラハ之レヲ買入レ来ル

（一件巻十参照）

（キヲ命ス）

（傳達）欧州各書外イヲハ下条ニ掲クル如キ其例ニ倣リ其都度指令セレトモ之ニ依ルヘキモノ勿論ナリ

四月十三日使節外内下野守等ヨリ今般遣欧使節ノ處分ス

ヘキ事件ハ其筋ハルトニ付庶キノミナラス又一トシテ重要ナラサルナシ就テハ同府ヨリ通詞三人ノミニテハ之ヲ分ノ用辧賞罰ナキヲ以テ増員ヲ要スルヲナレハ目下通詞ノ役ニ在ルモノ極メテ少ク外ニ満足ノ得ント欲スレハ内ニ用ヲ欠クノ恐アルヲ以テ此際英学熟心ノ輩ヲ撰ミ語ヲ解シ得ルモノヽ中ニ就キ優者ヲ抜擢シ此任ニ當ラシ

外務省

ムハ一方ニ於テハ官用所辧ノ便ヲ得他日ニ於テハ寡地ニ就キ洋学文物研究セシメ他日ノ人材ヲ養成スルヲ得テ此上ナキ義挙ナレト政府ニ建議シタルニ政府ハ之レヲ承認シタリ

四月廿七日外国奉行等ヨリ今般欧州各国（使節派遣ニ就キ）（続盟）

ヒケハ彦蔵両国ヘモ必問セシヘシト政府ヘ申聞シタリ先是此奉行ハ奉行等ニ対シ右両国ハ未タ仮条約ヲ締結シタルノミノ間柄ナルヲ以テ使節ノ必問ヲ要セサル旨ヲ下問スルトコロアリシ故ニ此申聞ヲ止メ五月政府此申聞ヲ受ケ彦蔵両国ヘモ使節必問セシムヘキヲ指令シタリ

五月英佛蘭外帝王等ヘ謁見ノ儀ニ於テ此ノヘキ使節ロ上案ノヲ問シ使節ヨリ右草案及参考トシテ外国使節ノ口上書等ヲ添ヘ此府ヘ上申シ其載可ヲ乞ヘシニ政府ハ此年

REEL No. 1-0021

0374

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

十一月ニ至リ外国奉行ト定奉行及両目付等ノ諮詢ヲ経テ
指定スルトコロアリシ
十月政府ヨリ長崎製鐵所ニ於ケル器械等ノ未タ品アル
趣アルヲ以テ長崎奉行ト打合ノ上欧洲ニ於テ購求スヘキ
ヲ使節ニ命シタリ使節ハ長崎奉行ニ照会シ奉行ハ欠乏
品目録ヲ添ヘ見ヲ具シ回答シタリ
十二月著書取調掛ヨリ遣欧使節ノ入用ノ書類及
右附属器械類ヲ購求セシムヘキトテ其目録ヲ添ヘ政府ヘ
申出シタルニ政府ハ其申出ニ応シ使節ニ命シタリ
右ノ外政府ハ使節ニ又ハ関係役所ノ申議ニ依リ使節携帯準
備金ノ一使節服制ノ一隨従医官ノ一使節携帯蘭国普通暦
及国旗ノ一及ヒ各国帝王及政事官ヘノ贈物品ノ一等ニ
関シ指定スルトコロアリシ

外務省

○遣欧使節ト蘭人シーボルト氏

文久元年四月廿一日遣欧使節外内下野守等ヨリ依嘱ノ趣
ニ従ヒ和漢洋在留蘭人シーボルト氏ヲ遣欧使節顧問
ニ関シ必要ナル件十七ケ条ニ付意見ヲ具シ使節ノ参考ニ
供シタリ（一件巻二）廿六日同氏ヨリ書ヲ政府ニ上ル、曰ク日
下横浜港ニ繋泊ナル英国軍艦某号ハ使節乗用ニ適当ナル
ヘシト思ハルヽヲ以テ之レヲ傭借セハ如何政府若シ意ア
ラハ元命其事ニ任スヘシト（ただ其費額の長短を問はず）政府ハ之レニ対シ使節ノ従
一切ノ事ハ英仏両国ニ依頼シタリトテ之レヲ謝絶シ翌
年一月シーボルト氏長崎ヨリ書ヲ閣老ニ上リ善船対州ニ
ヨリ長帆セシム（坂次郎船対州ニ繋泊物議沟ニ既ニテ繋泊）ニ関シシーボルト氏尽力ノ
アリ其繋船ハ善国ニ於テ甚タ野心アラサルノミナラス人世際
善国ト結ヒテハ日本将来ノ利益ニ取リテ重要ナルヘキ

REEL No. 1-0021
0375
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

及ヒロッシュ氏ノ推薦シテ將來日本駐劄魯公使トナサン旨ノ書簡ヲ閣レ魯國水師提督ヨリロッシュ氏ヘ寄ヘタル書簡ノ写ヲ送リ別ニ一書ヲ贈レ右書簡ニ関スル自己ノ意見ヲ開陳シ和親的對魯政策ノ義ヲ論シ且ツ説ヒテ曰ク提督ノ書簡既ニ此ノ如キヲ以テ予ハ使節ニ先ヲ魯都ニ密行シ使節ノ為メ斡旋ノ労ヲ執リ傳ヲ魯國公使トナルノ手續ヲナシ豫望全キヲ得ルノ日ニ於テハ授業ニ信シ日本國ノ利益ヲ計ラントス然レトモ唯夫レ微力ノ外臣此ノ如キ旅行ヲ企リル資ニ乏シキヲ憾ム故ニ日本政府若シ幸ヒニ此大事ヲ以テセントス願ハサハ渡魯ニ関スル旅行其他ノ費用トシテ一ケ月金若干ヲ給与セラルヘシ云々翌月又書ヲ寄セテ前書ノ及答ヲ促シ且ツ曰ク日本政府ニ於テ愈前書ノ意見ヲ採用スルニ於テハ特リ魯都ノミニアラス又蘭都ニ於テモ使節ヲ使節ノ待受ヲ使節ノ為メ斡旋シ日本國ノ利益ヲ計ルヘシ云々ニ因テ蘭國黄公子某氏ヨリ日氏ヘ与ヘタル書簡ノ写ヲ以テセリ書簡ハロッシュ止氏ナリ日本外交政事ニ参与シ其意見ヲ求ヘ得カキ地位ヲ占メタル人ニシテ且ツ日氏ニ於テ蘭國ニ赴ケハ兩國ノ事務都合宜シカルヘキヲ知ルヘシ我國政府ニ於テ此件ニ関シ外國係有司及外國奉行等ニ向シ諮詢スルトコロアリシ後其欲ニ授ヒロッシュ止氏ノ書簡ノ趣意ヲ認可シ賞トハ認許ヲシルサルモノトシ延テ之レヲ謝絶セリ

外務省

○遣歐使節ヘ日ラフト境界談判委任ノ件

文久元年十月十三日遣歐使節外内下野守等ヘ委任スルトカラフト境界談判ノコトヲ以テシ此緯五十度ヲ以テ線界

REEL No. 1-0021
0376
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

トナスヘキヿヲ訓令シタリ先是北カラフト境界ノヿニ関シテハ先年来院ニ魯国ヨリ前後二回談判ヲ受ケタルヿアリシモ議定ニ謂ハス（使節ト魯相トノ對話書ニ見ル）其後我レヨリ村垣淡路守等ヲシテ露館駐在魯国領事ニ面シ再復談判セシメタルモ彼レト其事任權ナキ旨ヲ以テ議纏ラサリシヲ以テ為ス此命アリシナリ（右年四月村垣淡路守等ヲシテ露館ニ於テ右談判ニ関シ政府ノ指令ヲ請ハシム）使節為ニ於テ右談判ニ関シ政府ヘ中策シタリケルニ政府ハ右ニ對シ下命ノ如ク指令シタリ曰ク カラフト上ノ境界タル北緯五十度ヲ以テ経界トナスヘキカ如ク論ノヿニテ右ニテ為一談判請ハヤん中ハ更ニ魯国領事ヲ経テ之レカ談判ヲナスヘキ備ナシ不調ノ後ニテ決スルトコロナクシテ可ナリ故ニ使節ト如何ナル場合ニ於テモ五十度以内ニテ談判ヲ取極ハクんンヿヲ為スヘカラス此件ニ関シ別ニ使節ニ責任状ヲ交付セスト雖モ政府ニ使節ヲ未タルニ已ニ此件ニ関スル全權委任状ヲ以テ境界ノ儀北緯五十度ヲ以テ取極ハムヘキ旨此後政府ニ使節ヲ発フルニ右ノ二訓令ヲ以テシタリ

一カラフト境界ノ儀北緯五十度ヲ以テ取極ハムヘキ旨相達スルモ右ニテ談判不調ノ模様ナル中ニ西岸ハ北緯五十度ヲ以テ境界トナスヘキヿ（文久元年二月達令）

東岸ハカライナシンノレトコヲ以テ境界トナスヘキヿト心得ヘシ

一カラフト境界談判ノ儀五十度ヲ以テ経界トナスヘキヿ取極ハメ尚ホ従来右五十度以内ニ居住ノ番人ニ對シ其引揚ヲ命スルヿニ関シ談判行届カサル場合ニ於テハ設令難儀ノヿハ国ヨリ我国ニ於テ好ニサルヿトスルナレモ両国懇親ノ間柄ニ於テ忍ヒ難キ情實ニアルヿヲ以テ従来住居ノ番人ハ其儘住居セシメ右住居地ニ對

外務省

10.

REEL No. 1-0021

0377

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニテハ貸与地タルノ証トシテ更ニ少ク論セス定額ノ地代ヲ拂ハシムルヿトナス〳〵シカモ該例ノ模様ニ依リ一ヶ年又ハ数ヶ年ト貸渡ノ期限ヲ定メ貸渡約定書交換ノヿトナス〳〵

（文久元年三月書指令）

○使節送船ノヿ

文久元年十月廿六日先是使節渡船ノヿニ関シテハ一ニ英佛両国ニ依頼シ置キタルトコロ漸ク英国公使ヨリ同国軍艦オーデ丘号右護送船ノ命ヲ受ケ神奈川沖ヘ到着セルヲ以テ諸事其会ノ為メ使節ニ於テ同船ヲ訪問セラルヘシト申来リタリ政府使節ヲシテ之ヲ訪問シ謝スルトコロアラシメハ

外国奉行等ノ申事ニ依リ先年亜米利加国ヘ使節渡航以降ニ於ケル送迎船ニ対セシ例ニ倣フヿ送迎船ノ場合ニ対シ以下数十人ヲ測量ノ御免ニ近見シ寓ヲ設ケテ之レヲ郷ク聯物各差アリシ

外務省

○使節以下称号位階取調査定ノヿ

文久元年十一月廿四日英公使ヨリ政府ノ依頼ニ依リ遣欧使節以下ニ対シ欧洲諸国ノ振合ヲ授ケ適候ヘキ称号及位階等取調ヘノ上報告書ヲ送リ来レリ右報告書ニ依レハ其内下野守ハ一等特派全権使節ト称シ京極能登守等ハ書記官ト称シ他ハ適当ノ称号ヲ見サルヲ以テ使節附属士官ト総称スヘシカモ了承政府ハ右報告ニ基キ正使ハ特派使節兼全権ニシテストル」ト称シ副使及会役ハ全権ニシテストル」ト称スルヿニ一定シタリ

○使節出発ノヿ

附出発準備ノヿ

文久元年十二月廿二日遣欧使節外内下野守等三使節及

11

REEL No. 1-0021

0378

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

文配向通詞並官其他從者合セテ廿六名英国軍艦ニ搭シ神奈川ヲ発ス発スルニ先チ使節ハ一行支度準備ノ為メ儀銀米穀越ノ一官金貸与ノ一身分陞級ノ一恩賜給与ノ一財産充当物ノ一等ニ関シ申請スルトコロアリシニ政府ハ関係役所ノ諮詢ヲ経其使節ノ先例ニ準シ一々指令スルトコロアリシ

使節既ニ発ス是ヨリ使節談判ノ模様及其経景ヲ叙スル一本件提案ノ順序ハ今使節ノ出発ノ次序ニ従ヒ各国ヲ区別シテ之レヲ叙述スルノ方ノ如シ

○仏国ニ於ケル談判ノ事

文久二年三月九日使節仏京巴里府ニ着ス翌日当時ノ外国事務宰相ツヅボル氏ヘ対シ書ヲ以テ其到着ノ報シ面談ノ時日ヲ打合セ且ツ我執政ヨリノ書面ヲ進達ス同月十四日ツヅボル氏ニ面会シ皇帝陛下ヘ拝謁ニ関スル外務省

聖上十五日皇帝陛下ニ拝謁シ国書ヲ捧呈ス同月十七日重ネテ外国事務宰相ト面接シ使命両都開港開市開発ニ関スル談判ノ端緒ヲ開キ談判ノ本題ニ入ラントスルニ当リ彼レハ当時事務変動静ニ痕跡スルノ間ナキヲナラス且斯カル談論ハ其国情ニ通ジシメルモノヲシテ其事ニ任セシムル相互ノ便利ナルヘシトノ趣意ヲ以テ最モ条約締結ノ際其事ニ当リタルヘロニグリン氏及外国事務局ノ人ヘル氏ノ二人ヲ談判委員ニ任シタリキ因リテ爾来我使節ハ此二人ト談判ヲナスヲトハナリス

我レヨリノ談判ハ両都両港開市開港延期ノ件ヲ以テ起リ国情ヨ陳シ其延期ヲ申入レ斯カル国情ニ於テモ其妥当ナルヲ認ムルナルシナスハ彼レ談判委員ニ於テモ其妥当ナルヲ認ムルナル

〜レト說ヲ其決答ヲ求メシニ彼レハ外國事務宰相ノ意見ヲ聞クカレハ返答ニ及ヒ難シト答ヘ且ツ此件ニ關スル委曲ノ事情ハ暴キニ我政府ヨリ彼ノ公使ニ与ヘタル書面ニテ既ニ充分承知ノフナレハ追テ何分ノ返答ニ及フヘキヲ以テ之ニ角他作ニ關シ我レヨリ要求スルトコロノモノニ就キ一應陳告セラタシト申出ヨリ我使節是ニ於テ使命訓令中ニ就キ方ノ古件ノ要求目ヲ示シ答件ノ要点ニ關スル意向ニ對シ答ヘアルトコロアリシ

一不開港場〜軍艦ヲ繫泊セシメサルヿニ關スル件

一銅輸出禁止ニ關スル件

一日月品ノ十年ノ量勅ニ依リ其産額國用ニ充分ナラサルモノハ時ニ臨ミ之ヲ輸出ノ禁止スルヿニ關スル件

外務省

一蘭輸出禁止ニ關スル件

一外國人在日本人ハ其居主ノ勝手ヲ以テ稼ニ外國〜住フヿ能ハサルヿニ關スル件

一佛公使ベレタル氏護衛伊國騎兵撤去ニ關スル件

次回復條ノ際改レ談判事件ニ關スル外國ヨリ宰相ノ意見書ヲ携〜来リ之レヲ我使節ニ示シ使節ノ考案ヲ促シ且ツ書面熟覽ノ上何分ノ紀答ニ接シ度旨申入レメリ其書ノ要ニ曰ク

外交上日本政府ノ困難ハ思フニ餘アルモ其原因ハ畫ニ國力二三ノ大諸侯及公族ノ所為ニ存リテ存スルモノナリ而シテ是等ノ人ハ所為ヲクリ条約締結ノヿスルハ軍ニ德川將軍及其親族ノ意ニ出テ上 天皇陛下自己等ノ專ノ事ニ為リ知リシヿモアラサルナリ將軍等一己ノ專斷ヲ以テ日本四方

此処ヨリ下ル

REEL No. 1-0021
0380
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノ国法ヲ捨ツルヿ不法モ亦極ハマレリトカフヘレト其意既ニ世ノ如キヲ以テ是等一味ノ人ハ殊更ニ舊慣ヲ守レテ外交ノ何物タルヲ討ネス既ニ条約ニ依リ定メタル条規ヲ無視レテ外国人ヲ憎ミ恰モ絶塲ノ如シ故ニ外国人ヲシテ足ヲ其首都ニ止メ難キ朝ニ侮辱殴打殺害等ヲサルナキニ及ヘリ是レ仏国ノ能ク知ルトコロナリ

今日右政府失行ノ中ニ就キ其一ニヲ枚挙センニ

日本政府ハ警衛士隊ト唱フルモノヲ組織シ名ハ外国使臣ヲ保護スルニ在ルモ其實厳密ニ使臣ヲ守護シ否ナ寧ロ之ヲ禁錮シ国内温和親切ナル人民ト交通ヲ遮断セリ

日本政府ハ外国人ニ関スル犯罪アリテ其処罰ヲ請求スルモノアルニ当リ口上又ハ書面ニテハ好意ヲ賞行シ請求ヲ満タレタルノ状アルモ其好意ヲ賞行シ請求ヲ満タレタルノ状

日本政府ハ条約面上ノ規定ニ背キ外国使臣カ諸港ノ領内ヲ自行スルノ自由ヲ防ケタリ

日本政府ハ其警衛充分ナラサルヲ以テ外国使臣ヲシテ性命ノ安全ヲ謀ル為メ自国ヨリ特ニ書役ヲ呼寄セシムルノモノハ〻ナラサルニ至ラシム日本政府ノ為メ嘗ニ偕欲カ勝ニ〈ラン〉ヤ

日本政府ヨリ外国使臣保護ノ為メ派スルトコロノ士ハ概子柔弱ニシテ用ヲ為サヽルノミナラス其士ノ中ニ往々浪人ト称スル輩混入シ却テ使臣ニ危害ヲ加ヘントスルモノアリ

日本政府ノ設ケ条規ハ勿論自国商人ノ意ニ及レ外国

外務省

14

REEL No. 1-0021
0381
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

商事ニ干渉シ商賣ノ進路ヲ防害スルノ所為アリ
日本政府ハ侵幣制度ノ一ヲ抽棄シテ顧ミス
日本政府ハ外国侵臣ニシテ公共ノ場所ニ立入ルヿヲ拒
絶シ且ツ其日常ニ於テル食料品ト商賣品ノ價ヲ知ラシ
ムルヲ欲セス
日本政府ハ仙台、加賀、薩摩等ノ諸侯カ政府及条約ニ背キ
公然外国人排撃説ヲ主唱スルヲ黙視シ之レヲ知ラサルヲ
ノ、如シ歐洲人ハ其意ヲ解スルヿ苦シム
日本政府ノ失所ハ如クシテ外交ナルハ国事ヲ処スル
亘ラシキヲ得サルノミニアラスシテ政府ヲ形ヲ大名公
侯等ノ強制ニ抗スル能ハサルニ職由スルヿ前ニ述ヘタル
カ如クナルトト佛国政府ノ能リ知ルトコロナルヲ以テ今正
面ヨリ之レヲ攻撃フナスヲ止メ是レヲ観察ノ災ヲ度一

外務省

日本ノ状況ヲ見ルニ日本一部ノ人民ヲ除クノ外ハ一般
ニ温和主義ニシテ外交的ノ振舞キノミナラス却テ
外交ニ依リ日本人ノ高度スル幸福ハ一ニシテ足ラス之
レヲ真味ヲ解スルモノハ誠ニ尤モナリ然
故ニ日本政府ニテ若シ其国力ニ構フトコロノ一大難事ヲ
排除シ外交ノ度ニ頼ラント欲セハ須ク英蘭及佛国政府
ニ向ヒ其助力ヲ請ヒ以テ事ニ従フヘシ難事立ヒニ排除
シ得ヘシ
今日本政府ヨリ使節ヲ派シ外交上ノ談判ヲ為スアルヒ
ヒ佛国政府ハ前条日本政府ノ事情ヲ察シ使節ノ請求
ニ申リ皇子ヲ会談ノ上両都両港開市開港ニ関スル江戸
条約ヲ変シ右談決書ニ記名ノ日ヨリ向フ三ヶ年間ノ交

15

REEL No. 1-0021
0382
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

期ノ承諾汗シ償トシテ佛政府ハ日本政府ニ對シ左ノ條目ヲ及承認スヘシ

一、江戸条約ニ所謂外国使臣ハ全国内ヲ旅行スルヲ得ヘシトノ条規ニ従ヒ日本政府ハ外国使臣ヲシテ危害ノ虞ナク日本国内ヲ旅行スルヲ得ヘキニ足ル護衛ヲ与フヘシ

一、江戸条約ノ四条ニ従ヒ日本国内ニ於テ耶蘇教ヲ浸潤スルノ習ヲ廃セルヿナルニ国内尚耶蘇教ヲ禁ス

掲示抹ヲ以テ外国人ノ感情ヲ害スルヿナルヲ以テ日本政府ハ更ニ大令ヲ発シテ此ノ如キヿナカラシムヘシ

一、日本政府ハ曩キニ創傷ヲ蒙リタル佛国横浜ノ二千弗ノ損害ヲ償フヘシ

ノ為メ一千弗ノ償金ヲ拂フヘシ

一、日本政府ハ外国人ト貿易ニ関シ喬爾ハ其望ヲ充シ之レヲ輸出ヲ許可スヘシ

一、佛国ノ酒及ビ仏国ニ於ケルヤ尚英国ノ木綿ニ於ケルト一般唯一ノ国産タルニ於テ両国共ニ異ナルヿナシ故ニ日本政府ハ佛国産酒及ビ仏酒ニ課スル三割五分ノ税率ヲ改メ英国産木綿ニ課スル五分ノ税率ト同一ナラシムルヿ可シ

外国人雇日本人ノ傷ニ関シテハ日本政府ハ其雇主ノ意ニ逆フトモ被雇者シテ日本国外ニ出テ労役スルヿヲ得ルヿヲ勧テハ佛国政府ニ於テ異論アルヿナシ

佛蘭西軍艦ノ日本諸港ニ碇泊シ陳ズルハ世界ノ通例ニ従ヒ此ノ間無スヘキヿニアラス特ニ之レヲ條約ニ記載セリ

外務省

16

REEL No. 1-0021
0383
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

リしも其責偏へに茲に在ルナリ一国ノ諸侯ニ軍艦ノ半ヘスルハ其国ニ害アリテ利ナキノミナラス又都テ海賊其他ノ害ヲ除却スルノ利アリ而メ日本政府之レヲ拒ミ殆ント其現由ヲ見ス

又日本政府ハ其名目ト認ムル場合ニ於テハ食料其他ノ日用品輸出ヲ禁止セントヲ望ムト雖ヘトモ右ハ全ク条約ヲ破ルノ行為ナルヘキヲ心付ナカルニ依ルナルヘシ

日本政府ハ破約ヲ敢テセサルヘキヲ信スルヲ以テ此件ニ関シテハ是非ヲ論スルノ要ナカルヘシ

前款ノ趣日本使節同意ナルニ於テハ合意決定ノ儒ニヲ一書ニ認メ両都両港開市開港ノ件ニ関シ一億英国政府ト協議ヲ尽ケタル後使節ト共ニ記名調印スヘシ若シ之レヲ及レ此ノ如ク議論シタル仏政府ノ提議ヲ止トスル

ニ於テハ既定条約ヲ励行シテ籍スルニナカルヘシ云

是レヨリ使節ト談判委員二名トノ面談トナリ外国事務掌相ヨリ再度ノ書面トナリ三月三十日迄ニ外国事務掌相ト直接ノ談判ヲ開キ使節ハ其ヲ国情ヲ慎シ一千八百五十八年条約中両都両港開市開港ニ関スル条全然停廃ノヲ請求セルニ彼レ之レニ応セサルヲ以テ更ニ向フ十年間ノ延期ヲ申出テ百方言ヲ尽シテ其認ヲ求メタルモ彼レハ支那ニ対セシ先例ヲ引キ国ノ前款ヲ執ツテ聴カス是ニ於テ使節ハ仏国ニ対スル談判ハ暫ク是ニ止メ先ツ英蘭等ヘ赴キ帰途再ヒ談判ヲ開キ各決スルトコロアラントヲ約シ四月一日仏都ヲ発シ山港ヨリ仏艦ニ搭シ英国ニ航ス

REEL No. 1-0021
0384
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

文久二年八月廿九日先是使節一行英蘭孛国ヲ経テ魯国ニ至リ其談判ヲ了シ蘭国ヘ再度ノ積ニテ孛国ニ至レルニ故アリテ再度ニ至ラス又直ニ当国ニ向ヒ此日ヨリ以テ約ノ如ク巴里府ニ着シ暴キニ談判セシ後ヲ受ケ引続キ談判ニ及ヒシニ彼レト英国ト同様ノ趣意条件ヲ以テ約スルトコロアルヘシレトモ前条ヲ取消シ更ニ賞書第ヲ提出シ来リシニ右賞書ノ趣英国ト大ニ異ナルトコロアリシヲ以テ百方弁論ノ末大半之レヲ済前シ陸八月九日漸ク賞書ニ調印シ之レヲ交換ヲ了シ帰リ（閏八月十日使節帰着）

賞書ハ大要

一千八百五十八年十月九日ノ日仏条約第二条ニ載セル

トコロノ両都両港開市開港ノ期ハ一千八百六十三年一月一日ヨリ向五ヶ年ノ間其施行ヲ延期スヘシ

外務省

右ノ如ク仏蘭西ニ於テ期限延引ノ事ヲ承認セル上ハ日本政府ニ於テ此条件ヲ除クノ外条約中所定ノ事項ヲ實行スヘキ事ヲ勿論タルヘシ

外国人ヲ横浜ニ居住スルノ古例ヲ廃スヘシ

仏国人ハ自由ノ交通ニ関シ従来ノ障碍ヲ除クヘシ

仏国公使ハ其当然ノ理ヲ以テ江戸樹演等ニ申渡ス

ヘシ

条約第八条ニアル交易ノ寛裕ニ妨アルヲハ之レヲ除ク

ヘシ

外国人其意ニ従ヒ端舟、舟師、職人、備大或ハ奴僕等ヲ用ヒルヲ其自由タルヘシ

（注言使節ヨリ仏相ニ書シ此度ハ書面上ニ出使ニ付其官旅ニ於テ法国ト同様ニ本駐箚其公使ニ訓令シ従来ノ如ク横浜ヨリ本政府ヲ干與セシ事ハ決シテ為サヽルヲ以テ彼ハ何事モ英国公使ト打合ヲ上処分セシ旨ヲ若ヘリ）（閏八月十日使節ヨリ報告書）

15.

REEL No. 1-0021
0385
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

日本諸侯ノ人民ヲシテ其産物ヲ立市場ヘ送輸スルヲ自由ナラシムヘシ

箱館長崎神奈川ニ於テ交易貿買スル者ノ制限ヲサルヘシ

国上所或ハ其他ノ設人ノ謂レナキ求ヲ許サヽル〜レ

開港場所ニ於テ条約中ニ張リシ場所中ニ於テ佛国臣民交通ノ自由ヲ妨ケサルヘシ

佛国人ヘ許シタル場所ノ周囲ヘ条約ニ背キ其公使ニ談判ナクシテ藩籬或ハ塹ヲ設クヘカラス

若シ之レヲ要スルニ双方臣民ノ引合及所置ノ自由ヲ妨ケサルヘシ

日本政府ニ於テ前駆約定事項ヲ履行セサルニ於テハ佛国政府ハ交期限ヲ取消シ且ツ其期ニ張ル時日ヲ論セス条約ノ明文ニ依リ両都内港ヲ開キ条約中ノ諸規定ヲ貫行スヘシ

右ノ外使節ハ佛蘭西政府厚意ノ深旨ニ感スル為メ帰国ノ上外国貿易ノ為メ對馬ノ港ヲ開クヘキ佛国産ノ酒及佛製商品ノ減税ニ付ヒテハ日本駐劄佛国公使ト日本ニ於テ協議ヲ遂ケタル上治定スヘキヲ及蘭兵ニ奏輔ノ事ハ日本ニ於テ禁止セサルヘカラス〜キヲ以テ佛国政府ヨリ請来アリタル使節ヲ政府ヘ報告スヘシ且又交易ニ便ナラシメンカ為メ日本ニ於テ納屋ノ設置スヘキヲ使節ヨリ政府ヘ建議スヘシ

（一件巻十八参照）

○英国ニ於ケル談判

文久二年十月十八日仏国ニ於テ英国諸動産ニ着スル時ニ当リ英国女皇陛下ニハ其配富岩死去シ諒闇ノ中ニ在

外務省

19.

REEL No. 1-0021

0386

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ンとす以て国書を当時の外国事務宰相ヴェセル氏に依り之を奉呈し祈請せしめ一八六七年一月十八日使節竹内下野守等外国事務宰相ヴェセル氏と其外国事務局と会し兵庫開市開港延期の請願を提出し其要旨朝廷の已むへからさるを説く其書旨に曰く目今日本に於て人心恟々たるに其諸侯一国挙げて騒然たるの事実は近り伊井大老櫻田門外の変、外国使臣に対する悪徒の暴行等を以て証するを得へきは諸外国に於ても既に熟知する所なりと使節出発後に於て尚又海舟閣老に対し坂下の事変アリし由の報知を接し日本国人心不穏なる様子を察せりとかつへし

国情此の如きは其国内に於て止むを得ざる所なりと雖も一たび定まる封建制度の下に構成し外国の何

外務省

物たるを解せざりしと人民ハ一切世上の事を推測するを知らず偏へに目前の安きを願ふもの此々然るを況しや世の輸変の洞見し来る様子の如きハ殆ん

レト稀に見るを得へきも最も新たに外国と交通

貿易を開くに当りてやはり日本人民ハ以為らく貿易ハ

設我有無の通ずること有りとは一ハ生活の便益に加へん

ヘシレト強んて世間ハ之レを全く反対の結果を来たし物

価の騰貴ハ之レを交通以前に比し殆ンと三倍の高きに

達し生活の程度の高カラシメんと同時に日本人民の

細民一時の困難は昔日に倍ス仮令暫時の外外国

難に遭遇し[illegible]日本人民ハ何トなく開ケ

又昔日の麻ヤシク現今の世の喧騒に至レルに発し不平無

頼の徒四に起り日本国下の困難ハ一に外国貿易に由来

スルモノヽリ外国貿易ハ日本臣民ノ生活ノ基礎ノ一部ニ属スルモノハ日本人ニアラス外務ノ任ニ当ル閣老ロシヤ人民ノ侵略ヲ防ヤン為メニ外国人ハ排擯スヘシ攘夷ノ論ヲ唱フルニ由ラスンハアラス外国状況ノ如キニ拘ハラス一千八百五十八年ノ条約ニ依リ両都両港ヲ開クニ於テハ外交ニ関スル危害逆ニ関ラレス其後ヲトコロ従来ノ和親ヲ破リ一国ノ危機ニ起ラントス日本政府ノ意フル所ニ在リ日本政府ハ両都両港ヲ開クヲ欲セサルニアラス寧ロ進ンテ之レヲ開キ尚ホ諸事ヲ改良シ長歩一躍欧州文明諸国ト日ノ域ニ達セン事ヲ期スルモ目下ノ国勢ハ之レヲ牽制シテ益ル得セシメサルヲ得サリ且夫レ今直ニ両都両港ヲ開クモ有ニ諸ル利益ハ殆ント少カラス長崎横浜及箱館ニ於ケル貿易品ヲ是等ノ港市ニ分配スルニ過キス利益ノ大小ニ関スルハ数年ノ後ナル〜ヲ待チ然ラ和親交易ヲ円滑ニシ永ク其幸福ヲ共ニセントスル日本国ニ於テハ今ノ国状ニシテ此請求アルニ遭ヒナナル〜レト言フモ過信ニアラサルヘカラス疑ヲ容レサルヲ況ンヤ其国情ニ通暁スル公使アルニ於テハ此レヲ思ヒ敢テ我国状ヲ詳ニシ其情ヲ察シ和親ヲ容レ国状平穏ニ帰スル為メノ間快ヲ両都両港開市開港ヲ延期セシムル〜レカ為メ

外務省

彼レハ是レニ対シ一言論難ヲ試ミルヲナク唯軽ク此件ヲ閣下ニ申ハロシ上ナルモノヨリ反答セラルヘシト答ヘテ帰リ使臣是

31.

REEL No. 1-0021
0388
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ於テ尚ホ日一理由ヲ組レテ本閣院一軍艦ヲ出入セシメ
サウシテヲ申出サルニ付レハ何レモ後會ノ期シ決日ノ
談判ヲウレ翌十九日更ニ會談セルニ付レハ英公使カ品川
氏ハ帰国ノ途ニ在リ日本特使森山茂吉郎外一名政府ヨリ使
節ヘノ書面ヲ携帯シ公使ト同伴シ来レルノ報ニ接シ
告ケ且右ニ依レハ日本政府ニテハ談判御用筋ニ関シ専要
ノ件アルヘキヲ思フレカルヲ以テ一時談判ヲ止レ其来着ヲ
待ツテ更ニ談判ヲ開クヘシ申出ヲ以テ使節之ヲ
五月一日特使森山茂吉郎外一名英公使カルコック氏ト同
伴横浜ニ着(横浜市高島町)同都西洋閣市開院迎期談判ニ関スル訓令書ヲ
傳ヲ(通詞福地源一郎 筆信参照)同ヒキ八日英公使カルコック氏使節ヲ其
旅館ニ訪ヒ同氏日本ヲ発前ニ於テ日本政府ト協議ノ末両
都西洋閣市開院ヲ件ニ関シ向フ五ヶ年間ノ延期ヲ豫約シ

外務省

帰使佛国ニ立寄リ其外国事務宰相ト謀レ皇帝陛下ヘモ面
謁シ日本国ノ事情ヲ樹ケテ其同意ヲ求メタル上本国外国
事務宰相ヘ右委細申聞ケ五ヶ年間ノ延期ハ先以テ承認ス
ヘキヲ云フ定ノヲ走ヘ且右延期承認ノ代ハリトシテ日本
政府ヘ反来スヘキ件ニ関シ別紙覚書ノ通相談一決シタリ
トテ之ヒヲ使節ニ示シ反覆之ヒカ説明ヲナシ右覚書ニ対
シ使節ヨリ何方ノ帰答アルヘシト申出ヲリ使節ハ一タヒハ
豫想ノ外本国談議ノ変更セルニ驚キタルモ森山茂吉郎外
一名携帯閣老ノ訓令書ヲ受リ又英公使ノ言ヲリ今ヤ躊躇スヘ
キニアラス乃英公使ニ對シ後刻外国事務宰相一決答
ニ及フヘシト答ヘ且尚ホ外ニ談判ニ及ハントスル件アリ
トテ使命訓令書中ノ件々ヲ(横浜)披レト論スルトコロアリ
シ同ヒキ日使節ハ外国事務宰相ト更メ

REEL No. 1-0021
0389
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

テ談判ノ開キシヨリ彼レヨリハ最モ「アルコック」氏ヨリ示サレタルノト同シキ覚書ヲ提出シ其頃印ヲ請求シタリ是レヨリ使節ハ右覚書面ノ条項ニ就キ和レヨリ提出シタル請求件ニ関シ外国事務宰相及公使「アルコック」氏トノ間ニ於テ数回ノ談判ヲ重ネ翌九日愈談判結了トナリ覚書ニ調印シタリ此時ハ皇陛下ノ御臨席間ヲ使節ニ渡ス

覚書ノ大要

一千八百五十八年八月二十六日締結シタル日英条約ハ三条西都両港開市開港ノ件ハ一千八百六十三年一月一日ヨリ第ニ向フ五ヶ年ノ間其施行ヲ延期ス

右ノ代ハリトシテ日本政府ヨリハ既結条約面ノ十ハ厳重ニ施行シ且外国人横行ノ古法ヲ廃スルヲトナフス右ノ件ニヨリ除却ス

第一 一千八百五十八年八月二十六日ノ条約第十四条ニ基キ商業上ノ諸税ヲ日本人ヨリ外国人ニ貢納スベキ貢納ノ一ニ付之レヲ拒ム

附言 此度ノ例外トシテ蘭奇印紙及武器類ニ関スル取引ハ在留官使又ハ領事ニ限リ専用ニ帰シ政府ヨリ特ニ貢納スベキ日本貢ヲ繰延ベシ 然ルトキハ人心ノ不穏ヲ来タシ外交上ニ於テ危害関ルヲスト主張セリ 英相ヨリハ是ヲ右問ニ三英相ニ対シ談判スルトコロアリシニ成ル迄調ヲ使節ヨリ日本駐箚其公使ニ制令スルトコロアリ 英公使ハ日本駐箚其公使ニ制令スルトコロアリ 英公使ハ日本駐箚其公使ニ制令スルトコロアリ 英公使ハ日本駐箚其公使ニ制令スルトコロアリ

第二 諸職人殊ニ工匠、船夫、船舶備夫等ヲ指和スル人及授傭等其名ニ拘ハラス是レヲ備フニ付是レヲ拒ム

附言 此度ハ開市ヨリ開港スルニ付テハ諸人ハ自由ニ授傭ヲ為スヲ得ベシ 然レトモ其事ヲ為ス人ハ法度ヲ犯シ或ハ外国人ノ虐使ヲ蒙リ苦情ヲ起スヲ恐レ同ジ 今ノ国情ニ於テ左ヲ見ルベキ上ニハ日本国ハ安更輕ニ要刑除スルヲ能ハス 政府ヨリ日本駐箚ノ公使ニ制令ヲ発シ実施ノ場合ニ於テハ此旨ヲ得ベシ 政府正ヨリ干渉ヲ受クルトハ本人ハ決シテ対戦ノ現ノ約ヨリ

第三 諸大名其産物ヲ市場ニ送リ及其自家ノ人ヲ送リ直ニ之レ

REEL No. 1-0021
0390
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ヲ貴ル ヲ拒ク

五運上所ノ設人及他ノ士人手賃ヲ取ノ存意アリテ渡是レ事ヲ付拒ク

六長崎箱館神奈川港ニ於テ外國人ト交易スル人ニ身分ノ限定ヲ立ツ之レヲ許ルスヲ拒ク

七日本人ト外國人ノ間ニ懇親ノ徒勝手ニ交ルヲ拒ク

以上ノ条々タル既定ノ条約ニ於テ已ニ日本政府ニ於テ遵守スヘキ明ナルモノナルヲ以テ今後若シ之ヲ違背セハ今般承認セル五ヶ年更期ニ限リ何時タリトモ此書ニ載スル港都ニ関スル承諾ヲ取消シ一千八百五十八年ノ条約ニ立戻リ右条約ヲ厳行シ港都ヲ開ク日本政府ニ強請スヘシ

右ノ外日本使節ハ帰朝ノ上、對馬ノ港ヲ開クハ日本ニ取リテ利益ナシ、日本貿易ヲ妨ケ其ヲ表ス為メ関税ヲ減シ玻璃器ヲ五分板硝子品中ニ加ヘ又横濱長崎間ヘ納屋ヲ設置スヘキヲ閣議日本政府ニ要求(上申ニ之ヲ付ス)

(一件卷十四参照)

外務省

兩都覆定期談判ノ件ヲ除クノ外英國ニ於テ我使節ヲ請求レタル件ニ関シテハ書面ヲ取横ハシレタル事ヲ了ス

唯口約ニ止マリタルモノハ如ク左ノ如シ

一不開港場ヘ軍艦ヲ繫泊セシメサル事

避ケヘカラサルノ困難其他止ムヲ得サル場合ヲ除クノ外ハ繫泊セシメサルヘシト約セリ

一年ノ豊歉ニ依リ品物不足ヲ告クヘキ英ノ如ノハ時ニ應シ之レヲ輸出ヲ禁止スヘシトノ事ニ對シテハ彼レハ豆油等食料品ニ限リ必要ノ場合ニハ豫メ期限ヲ

REEL No. 1-0021
0391
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

定メ之レヲ輸出ノ差止ムルヲ得ヘキヲ承認セリ

一貨幣制度ノコトニ関シテハ種々論議モアリシ由ナレ共我レハ其制度ノ如何ニ依リ影響スルトコロ大ナルノミナラス此ノ如キハ自国大蔵大臣ト協議ヲ経タル上其国ニ駐在ノ全権公使ニ委任シ談判セシムルヲ至当ナルヲ以テ此点ニ関シ英国公使ヲ通シ英国政府ニ対シ交渉セシ

我レヨリ請求セシ件ニ就キ談判ヲシタルモノハ右ノ取件ニ過キサルヲ以テ使節ハ覚書ヲ朝印セシ翌日書ヲ外国事務宰相ニ送リ未タ談判ヲ為サヽル件ハ帰朝ノ後ニ出発ス

日ヲトレ協議スルトコロアラン事ヲ我レ望ム

書面ニ対シ貴国乗ノ件ハ切要ナル件ヲモ見ヘサルノミナラス此ノ如キハ其国ヘ派遣ノ全権公使ト協議ニ任ス

外務省

ヘク我レトノ談判ハ覚書ヘ朝印ヲウレサル丈ケニテ終結トナスヘシトテ我ヲ慰セサリシ使節モカヲ得ス之レヲ諾セリ十三日使節書ヲ本国政府ニ送リ英国ニ於ケル使命談判ノ詳細ヲ報告シ添フルニ対談書、交換セシ覚書及使命ニ関スル往復書等ヲ以テセリ十五日使節英京発帰府ヲ発シ和蘭国ニ向フ

附言 前歌十三日付使節ヨリ報告書ニ接セル国ニ於ケル談判ニ関シ報告書ヲ掲ケ之レヲ明ラカニセン方報告書ハ発送セルモノ及ヘ本件書類中之レヲ見ヨ

○和蘭国ニ於ケル談判事

文久二年五月十六日使節一行英国ウールウィッチヨリ蘭国軍艦ニ搭シ翌十七日蘭国ニ達シ陸路国都海牙府ニ着六月五日国王謁見ス（通商徳川幕府ヨリ蘭国ヘ贈物多数）

此国滞在中ニ於ケル談判向ニ関スル彼我対話書其他往復

REEL No. 1-0021
0392
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

書ヲ以テ一ト其模様ヲ考フルニ由ナレト此国ニ於ケル談判ハ思ノ外捗取ラス六月十八日ニテ滞留セシニ李満生国ヨリ使節ヲ発スヲ促スヿ頻リナルヲ以テ（原精地信考略）使節ハ蘭相ニ対シ再会談判ヲ開ケ（伯林）キヿヲ期レ（伯林）（蘭相ヨリ蘭相ヘ若シ使節ノ書簡）同月十九日逆ニ蘭国ヲ発シ先ツ李国ニ赴ケルカ此レ其後八月李都伯林府ヘ向ケ蘭相ヨリ使節ヘノ書簡使節ヨリ之レニ対シ論難ノ答書閏八月佛都巴里府ヘ向ケ蘭相ヨリ再度ノ書簡使節ヨリ之レニ答フルノ書及同月十二日佛都発使節ヨリ政府ヘノ報告書等ヲ直覧スレハ蘭国ニ関スル使節談判講成ノ始末ハ大畧左ノ如クナリシヿ明ナリ

使節ハ前述ノ如ク一旦此国ニ対スル談判ヲ停止シ先ツ李国ノ談判ヲナシ再ヒ李国ヘ来レルニ際シ蘭相ヨリノ談判

外務省

決答書ニ接シ使節ト右決答書ノ趣ニ満足ナラサルトコロアリシヲ以テ約ノ如ク再度談判ニ及フヿトアラント伯林府駐在蘭公使之レヲ止メテ曰蘭相ヨリ使節ニ対シ使節ニ於テ不満ナルトコロアラハ電信又ハ書面ヲ以テ論難及答弁ノ事足ルヘシトノ事ニ付キ再度ハ思ヒ止マラレンヿヲ以テ再度ハ中官ヲ本元今カラ差スヘキヿヲ以テ四隣諸ヶ国ノ類ヲ顧ミテ嗤笑シ曰ハントス和蘭ハ日本ト旧交ノ国ニアラスヤ而メ彼レカ如ク談判度々トシテ調ハストカ之使節書簡ヲ案シ其旨ニ従ヒ書面往復スル数回ノ如ク談判ヲ続ケシ所ナリ

一和蘭政府ハ両都両院開市開港ノ延期ヲ承諾スル右代ハトシテ日本政府ハ日蘭条約面上ノヿハ厳守履行ス

26

付言 此文期八月廿五日ノ長崎ヲ出帆シ翌月ノ意味シ得ベシ 百月ノ限ニ九龍ニ着ス者 真夜陸ノ書間ニ合ヒ難定セリ

一不開港場ヘ軍艦ノ繫ヲ拒ム セシメサルコトニ関シテハ和蘭政府ハ自ラ力ヲ尽シテ其難事ヲ辯ク

一年ノ豊凶ニ依リ食料品輸出ノ禁止スルコトニ関シテハ蘭政府ハ同意ナルヤ之ヲ知ラス 力ヲ尽シテ之ヲ扶ク

一貨幣制度改良ノコトニ関シテハ蘭政府ハ日本駐在ノ領事ヲシテ其疑ヒ参セシメ日本政府ヲ扶ケ第ラ自国ノ利益ヲ実セサンヿヲ勧ム

（附言 設判者ノ此ノ辯ヲ為シ先別ニ貿者ノ英稿ヲ文）

○李病生国ニ於テ談判事

此国ニ対シ使節談判ノ模様等ニ関スル書類ヲ未満足ナラス 又何等ニ方ノ教訓ヲ叙スル得ルノヿ

文久二年六月十九日使節一行蘭国ヲ辞シ此ニ国ニ向ヒタ

（孝明天皇八月十日佛国交使節ヲ政府ノ勅答書参照）

文久二年八月廿四日使節一行書都ヲ発シ此国ニ来リ

佛国ニ赴クリ（日上敬之参照）

此国ニ対スル談判ハ楊ノ李国外国事務宰相ヘ（カラーフベルンスルトフ）氏ヨリ使節ニ宛テ送リタル公文書ノ趣旨ニテ

終結セルカ如リ思ハルモ右公文書ニ関係スヘキ他ノ書類アラサルヲ以テ容易ニ其如何ヲ断定スルヿ能ハス故ニ今

茲ニ其全文ヲ掲載シ参考ニ供ス

千八百六十二年七月三十一日別林

日本使節

竹内下野守

松平石見守 足下

京極能登守

外務省

REEL No. 1-0021

0394

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

本月二十四日會合之時足下貴國政府ヨリ命令ヲ奉シ余ハ種々の請求ヲ述ヘたり余之ヲ熟考して左ノ報告ヲ

李滿生政府ハ和平の時ハ當りて軍艦を日本海ニ差出ハ李滿生の交易ヲ艱難し条約ヲ違守する為めに主意なり

○軍艦ハ指揮官ハ李滿生臣民等不理ノ取扱ヲ受さる様ハ心ヲ用ひ李滿生ハ船舶并臣民等条約ノ規則ハ背き殊ハ密買ヲ為すヲ防く〳〵し○然故ニ李滿生軍艦ハ日本ノ開きたる港而已ならず未開港ヘも至るノ免許あるへし

然レとも其艦乃指揮官ハ只国旗乃為め止むヲ得さる時あ已未開港ヘ至るノ命ヲ受く〳〵し

日本ハて食料欠乏ス様子ある時政府ハて食物ノ輸出ヲ禁ずるとも李滿生政府ハひて決して異存なし然ルとも是ハ兼以て切要乃次第并禁止ノ時限ハ就て外国ケフ

外務省

ロマチーキフケントと談判せんし

日本債帯ノ制且日本政府之ノ改革せんとノ労ある ハ就テ足下の速たる趣旨ハ余之を極て大切の事と思へり

余日本在留ノ李滿生コンシュルハ此事大事件ハ就てハ殊ハ着意して之ヲ余ハ報告せんき命ヲ下ハ〳〵し○然後余コンシュルハ命し余ハ指図ニ基き日本政府と談判せしむへし

此他足下日本政府の命ハて蘭奈卯日本武器及ひ銅器ハ之ヲ輸出禁止ノ品類ハ加へんとノ請求ヲ告たり○此請求ハ李滿生政府ハて應ずる能ハ○李滿生と日本とノ条約ヲ十八百六十三年ノ一月一日より施行せ〳〵し○李滿生政府ハ条約ヲ施行し両国交易ノ様子ヲ見さる以前ハ条約ハて李滿生政府ハ與へたる切要ノ当理ヲ今ハ既

REEL No. 1-0021
0395
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ヌ廢セラル能ハス○李鳳生政府ハ存意ハ日本政府ヲ以テ条約ヲ施行シ易キ事件ハ之ヲ右誘セントモ思ヘリ然レトモ李鳳生政府ハ条約ヲ施行セサル以前ヲ以テ貿易規則ヲ改革シ諸誘スル能ハス尤条約ヲ再閲ハ戸ヲ開ケ条約ヲ規則ヲ隨ヒ厳ヲ五ヶ年ヲ延期シ以テ之ヲ為セ○若シ蘭人ヲ奉卯ヲ日本ヲ輸出セル事迅速殊更盛ヲ為リシカラハ必ス歐羅巴ヲ為シ故ニ蘭人ハ卯ヲ日本ヲ盛ン輸出セル事ヲ止ムヘシ○英商ハ蘭人ヲ日本ヲ盛ン輸出セル事ヲ止ムヘシ○日本武器輸出ハ余カ聞ケル如ク甚タ少キヲ以テ且諸種ノ歐羅巴ノ武器ヲ日本政府ヲ望ム人ヲ日本ヲ輸入セル為ニ従ヒテ其業ヲ自ラ止ムヘシ○其他銅器輸出ハ敢テ日本政府規則ノ条ノ規定ヲ隙ヲ銅ヲ公乃入ルヲ以テ責ヲ負セル時ハ其輸出ヲ必ス減スヘシ

日本在留ノコンシュライル アケント 米無税ノ規則ヲ以テハ只其政府ヨリ交易ヲ為セル禁シタルコンシュルヲ施サンヲ請求ヲ迎ヘリ○余其請求ヲ承諾シ日本ニ有リテ交易ヲ為サヽル李鳳生コンシュル役ノ為ヲ無役ヲ事無存シ○亞ヒヤ余ヲ条約ヲ結ヒタル他ノ諸国モ亦存ノ規定ヲ同様ヲ迎ヘ方此事許ハ自ラ生ル間ハ李鳳生コンシュル設ケシモ甚タ下ヲ加ラサルヘシ

余此序ヲ以テ足下ヲ殊ヲ恭敬ヲ以テ意ヲ表セ

アラーフベルンスルトフ

附言 文久二年閏八月吉日佛都也里府発遣駐佛使節ノ報告書ニ依レハ李国ヨリ報告書ニ明リ記シ今其件書ヲ掲ケ之ヲ載セス是レ蘭李両国ノ談判模様不明ナル所以ナリ

○魯国ニ於ケル談判事

REEL No. 1-0021
0396
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

文久二年七月十四日使節一行設得能登守（着用レキ十九日晋席陛下ニ拝謁レ国書ヲ捧呈ス（閏八月十日伊都流使節ヨリ閣老ヲ歴訪ス敷条書参照）同レキ廿六日使節竹内下野守等其旅館ニ於テ晋国五細里事務総理（宰相）ヲ訪ヒ初テラルイクナエフ氏ト面接レ樺太境界談判ヲナレ又リ（先是已ニ一回ノ談判アリタルニ相違ナキヲ以テ此廿六日ノ談話書及ビ年閏八月ノ使節ヨリ総理ヘ送ル書ニ徴シ明瞭ナル所ニ本書ノ見ス）今茲ニ彼我談判ノ要旨ヲ摘記セン

我使節談判ノ要旨、カラフト島ノ人種ハ「アイノ」及ビ「オロシヤ」ノ両種ヨリ成立ス而メ其中ニ就テ「アイノ」ト唱フルモノハ往古ヨリ日本国撫育ノ下ニ在リシ人種ニシテ右人種ノ栖息生業スルノ場所ハ即チ日本ノ属地トシテ取扱ヒ来リシヲ以テ日本国ノ旧記其他ノ書類ニ徴シ明瞭ナルトコロナリ而メ「アイノ」人種ノ漁猟其他生業ノ為メ来往栖息スルトコロハ「ホロコタン」ト称スルトコロニ即チ北緯五十度以南ノ地ニシテ右以北ハ「メレンクル」人種ノ栖息スルトコロトス是ヲ以テ北緯五十度以南ハ日本国属地ニシテ特リ日本国ニ於テ然リトスルノミナラス世界地理学者ニ於テモ既ニ是認スルトコロナルハ世界普通ノ輿地図等ニ於テ北緯五十度ヲ以テ樺太島ニ於ケル日晋境界トナシ地図ハ着色ヲ異ニスル見ナモ明ナリトス今ヤ両国条約ヲ結ヒ国ノ交際日ニ親密ナラントスルニ當リ斯ル土境接近ノ地ニ境界ノ定メス他日之ニ依リ彼我属地人民ノ間ニ事端ヲ開キ延ヒテ両国ノ和親ヲ害シ両国ノ上ニ於テ由々敷大事ヲ惹起スルヲ如アラシニハ豈ニ子輩ノ遺憾ナラスヤ況ヒヤ日本国下人心穏ナラス加ハル外交談ヲ唱フルモノ国内到処蔓延スカンナリ外国人ニ対スル敵愾ノ気十分ナル折柄ナルニ於テヤ是ヲ以テ先年来度々ノ談判及ビ今使

外務省

30.

帝ノ言フトニハ之ト結キ實際ト条理ニ依リ之レカ考案ヲナシ樺太ノ境界ヲ定ハルノ議ヲ容レ亜鞠五十度ヲ以テ境界ノ標準トナスヘシトス

魯国亜細亜事務掌相駁論ノ要旨。使節ハ人種論地図等色色別論及旧記論ヲ基トシテ力ヲ上ハ果シテ日本ノ偽地ナルヘキヤ否ヤヲ斷定シ亜鞠五十度境界説ヲ主張スルモ一ニ本問題ヲ決スヘキ價値アルヲ見ス請フ左ニ之レヲ論辨セン

使節ハ所謂人種ハ日本撫育ノ人種ナリト言ヒ所謂人種ニ限リタル名称ナル字ノ如キ説ナリ然レトモ是ト未タ充分ナル證據ヲ挙ケサルノ説ナリ況ヤ所謂人ト云フ意義ニシテ外国人ハ彼等ニ対シ決シテ何者ナルヤト尋ネタル場合ニ対シ「アイヌ」ト答ヘタルニ過ギサルノミ

外務省

(郡人)ナリト答ヘタルニ起因シ彼等ノ通称トハナレルモノニシテ他ニ意味アルナシ人種ニ日ク古ヘハ亜鞠五十度以南ノ土人ハ千嶋ノ土人ト同種ニシテ千嶋ヨリ力ラフト上ニ接住セルカニ相違ナキヤ

使節ハ露地図着色ノ分界ヲ以テ境界説ト偽地論トヲ維持スルノ一証拠トセリ是レ最モ薄弱ナル論拠ナリトス若シ使節ノ説ノ如クセン乎支那帝国ノ過半ハ我帝国ノ領分ナリトシテ支那帝国ニ対シ談判ヲ開クヲ得ヘシ何トナレハ或地図ニ依レハ右ノ如クノ境界ヲナシ着色シアルヲ以テリ地図ハ作ル者ノ意志ニヨリ如何様ニモナシ得ヘキモノニシテ此ノ如キ議論ノ論拠トナシ得ヘキモノニアラサルナリ

使節ハ日本ノ旧記ニ依レハ力ラフト上ハ往古ヨリ日本所属ノ

31.

REEL No. 1-0021

0398

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

地ニシテ日本ヨリ官吏ヲ派遣シ撫育シ来レリトカフモ可
ラフト雖ハ往古ニ於テハ宮古ハ支那ノ領地ニシテ支那人漁獵
ノ為メ其地ニ移リタルコトハ舊記ニ載在ルトコロナリ其後
ニ至リ初テ此ノ地タル支那領トモ言ハス魯領トモ確定
セス又日本領トモ称セラレス不定ノ間ニ横ハリ置キ魯
國ノ注意ヲ受ケ来レリ日本ヨリ官吏ヲ派遣シ可ラク止
ニ注意スルコトナリシハ全ク近頃ノコトニテ往古ヨリモ
ト言ハレカル証拠ニハ過歳我國ヨリ人ヲ派シ可ニヲ新
スル地ヘ陣屋取立等ノコトヲナサントシテ要渡所ニ際シ
其間ノ果カヽリシ時ニ於テ日本官吏ノ来リテ極育シア
ルヲ見受ケカリシコト是ナリ日本ト異意近頃ニ至リ初ラク止
ノ地ハ此方大切ノ地ナルコトニ心付始メテ吏ヲ派シ民ヲ撫
育シナカラ其不定地ナルヲ自己ノ属地ナリト主張スル

外務省

ニアラサルナキヲ得ンヤ
初ラク止ハ日本ノ属地ナルヤ否ヤニ関スル使節ノ議論ハ此
ノ如ク薄弱ナルノミナラス其境界論ニ於テモ亦使節ノ意
見ハ其論拠トスルトコロ何処ニ在ルヤヲ見ル能ハス使節
ハ土境接近他日紛争ノ開クノ虞アルヲ以テ今ニ於テ
須ラク境界ヲ定メンヘシ境界ハ北緯五十度ヲ以テ標準トナ
スヘシト古ヘリ北緯五十度ヲ以テ境界トナスヘシトハ柳
何ニ国リテ然ルヲ得ヘキヤ魯地図ハ五十度ヲ以テ区別
ラナス故ニ定フトノ説ハ其取ルニ足ラサルヿ前述ノ如シ
然ラハ所謂日本撫育ノ下ニ在ル可キノハ五十度ノトコロ
マテ来往又故ニ之レニ接スルトコロ中然リ然リト云フ一例
所謂アイノ人モノハ四十八度ノ地ニ於テサヘ来往セル
ルノミナラス日本官吏ノ如キハ近来ト雖ヘ此ノ如キ此

REEL No. 1-0021
0399
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

地ニ於テハ其隻影ヲモ見ルヲ得サルナリ今ヨリ五十度ヲ論スルヲ得ンヤ且夫レ土壌接近設我土人雜居シテ常論ヲ開カシムルヲ恐レテ境界ヲ定メントセハ宜シク海狄山脊墓地天然ノ經界ヲ以テ境トナスヘキナリ天然ノ經界ヲ以テ境界ヲ畫定セン中幸端ノ起リ依ラスシテ人爲ヲ以テ之レカ境界ヲ畫定スヘシ故ニ曰ク隣ヲ以テ止ノ易シキヲ以テ昔日ニ百倍セントス

境界ヲ定メント欲セハ宜シクレリ天然ノ經界ニ依リ アニワ流ヲ以テ界トナス一レ然ラサレハ萬ロ下田条約ヲ改メス

從來ノ如ク彼我土人雜居ノ位ニ放任シ置カン耳ニ

伊藤長官 [illegible]

レ前後七回ノ會合ヲ重ネタル下田条約ノ位ニ放任スルヲ以テ使官ニ於テ共心辯論ノ末樺太境界ト他日實地ニ確ク斷定スヘキヲ

外務省

相談ヲ取纏メ決セシヨリ提出シ難ニ論議ヲ尚論難取捨スルトコロアリ八月十九日賞賜ヲ朝廷ニ奏シレカ立標ヲ了レリ（資料報告（七回の内六回分）閣八月使官ヨリの報告書参照）

附錄 資料報告中カラフト境界談判ノ模様ヲ知ルニ由ナシ其談判ノ顛末ハ別ニ閣ルヲ外ハ一切異ニ記載セスト

賞賜大要

一、日魯条約第三条及ヒ六条ニ載スルトコロノ両都両港開市開港ノ事ハ一千八百六十三年一月一日ヨリ四ヶ年ノ間其施行ヲ延期ス右外国政府ニ於テ右ノ延期ヲ承認セサルカ或ハ其代トシテ新ナル免許ヲ得ルカ又ハ条約中懲罰ニ關スルヲ以テ魯西亞国ニ於テハ魯西亞国ニ於テハ

日本ノ免許ヲ受クヘシ

二、樺太島ニ於ケル境界ヲ定メントノ談判ハ魯国政府ニ於テ之レヲ承引セス然レトモ日本政府ヨリ切ニ求ムル

REEL No. 1-0021
0400
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ依リ暫西亜政府ハ コントロル アトミラール、カサケシ
イッケ山ニ必要ノ全権ヲ与ヘ日本全権委員ト面談商議
セレハムルヿヲ約ス
六、負債改鋳ノヿニ関シテハ魯国政府ト日本国在留領
事ニ必要ノ全権ヲ与ヘ日本政府ト商議セシムヘシ
（存巻十七参照）
八月廿四日 使節一行露都政府ヲ発シ再ヒ李満国ニ向フ

○葡萄牙国ニ於ケル談判事

文久二年八月廿三日使節一行仏国巴里府ヲ発シ英国ニ向フ（日英修好通商条約書参照）
英国ニ関スル事実ハ使節ヲ発シ本ケル使節備品及旅費ノ負
知書ニ使節帰朝後ニ於ケル賠償及横浜開港
ニ関スル謝状等ヲ止メ使節英国滞在中ニ関スル書類ヲ
ヲ以テ英国ニ対セシ使節ノ行為及其結果等度々考フヘキ
ヲス

外務省

○使節ノ帰朝（附使節各国ニテ未決ノ談判再議ノ各国ヘ謝罪ノ為賠償品ヲ送ル）

文久二年十二月十一日長歌使節外務内下野守等一行使命ヲ
了シ帰朝ス同月廿九日閣老ヨリ書ヲ各国公使ヘ送リ各
国ニ於テ使節ノ厚遇ヲ受ケタルヲ謝ス
文久三年二月最キニ使節外国ニ於テ談判ノ際事件ノ種類
ニ依リ我国駐劄彼国使臣ト熟議ヲ遂ヘキ趣キヲ以テ未
決ノ儀ニ残レ来リタル諸件ニ付政府ト書ヲ以テ外内下野守等
其談判委員ニ命シ之レヲ英仏両国公使ニ通知セリ
十二月十八日談判委員竹内下野守等横浜ニ於テ仏国公使
ト談判ヲ開キ種々辯論ノ末左ノ三件ヲ談定セリ

34

REEL No. 1-0021
0401
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一佛国製造間物ハ大分税酒類ハ総テ五分税トス
但施行日限先ニ告示ノ次第ハ一旦委員政府ヘ申
シ政府ヨリ公文ヲ以テ直告スヘキ
一蓄車ノ輸出ハ総テ五分税ヲ課スヘシ但公使ノ自用ハ
此限ニアラス
一外国人自用品ノ件ニ関シテハ公使及軍艦士官ヲ除クノ
外ハ総テ普通ノ税金ヲ課スヘシ
附箋 英国ニ対スル談判ニ関シテハ本件書類中其記載アル
ヲ待テ定ム
十二月廿七日閣老ヨリ英仏魯蘭等諸大国外国事務官
相ヘ其国公使ヲ経テ謝状ヲ送リ是歐使節ノ優待ヲ謝シ且
謝意ヲ表スル為メ各国帝王ヘ贈物品ヲ送リタルニ各国皆
其厚意ヲ謝シ贈物ヲ受ケタリ独リ英国ハ日本政府ニ於テ
条約面ノ諸件尊守ニ関シ後来ノ満足ヲ証スルニ足ルノ所
置アナサンノ間ハ大君ノ贈物ヲ受クル能ハストテ一旦
贈物ノ謝絶シ閣老ヨリ之レニ対シ陳弁スルトコロアー
リシニ翌年十一月ニ至リ始メテ贈物ヲ受納シ来リ

外務省

編者附言

本件書類ノ
此書ヲ通覧スルノ人ハ仮令一件不完全ニ終リタ
ラシテハ編者ノ能ク知ルトコロナリト雖モ今之レ
ヲ補フニ足ルヘキ他ノ書類ヲ見サルヲ以テ拙ク其
ウサルヲ足ウカル仮ニ葉ヲ闕キ他日ノ補遺ヲ俟ツヘ
シ

REEL No. 1-0021
0402
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/